

平成20年3月期 第1四半期の財務・業績について

- 当第1四半期の財務・業績に対し、当行社長のボルテは以下のとおりコメントしております。
 「平成20年3月期は、堅調な滑り出しとなりました。業務粗利益が順調に拡大する一方、慎重かつ規律ある経費管理をしてまいりました。昨年度に実施した、消費者金融ビジネスにおける引当金の積み増しや減損などの断固たる諸施策により、当行は、平成20年3月期の収益成長へ向けた足場は築かれたと考えています。消費者金融業界における不透明感は続いていますが、各業務分野における当第1四半期の業績は大変心強く思っています。」
- 業務粗利益は前第1四半期比12.3%増の765億円。非資金利益比率は64.9%(前第1四半期63.9%)
- 実質業務純益は前第1四半期比27.0%増の391億円
- 四半期純利益は前第1四半期比62.6%増の312億円(キャッシュベースでは同比38.5%増の339億円)
- 経費率は48.8%(前第1四半期54.8%)
- 総資産・貸出金とも前期末比増加(+3,076億円、+1,321億円)
- 自己資本比率(バーゼルⅡ、F-IRB)は13.03%、Tier I 比率は7.89%
- (単体)実質業務純益は前第1四半期比98.8%増の218億円、四半期純利益は同比47.7%増の238億円
- リテール預金はほぼ横這い(個人預金3兆5,305億円、前期末比153億円減)
- 不良債権比率(単体)は0.50%に低下(前期末0.53%)

1. 損益の概況[連結]

(単位:億円)

	当第1四半期 (平成19年6月期) ＜3か月間＞	前第1四半期 (平成18年6月期) ＜3か月間＞	(参考) 平成19年3月期	平成19年5月9日 公表通期予想 (平成20年3月期)
業 務 粗 利 益 *1	765	681	2,683	
資 金 利 益	268	245	954	
そ の 他	496	435	1,728	
経 費 *1	373	373	1,499	
実 質 業 務 純 益 *1	391	308	1,183	
不 良 債 権 処 理 額	95	37	519	
のれん・無形資産償却額(ケ'ロス)	30	62	208	
のれん・無形資産減損損失	—	—	951	
四半期(当期)純利益(△は当期純損失)	312	192	△ 609 *2	720
(参考)キャッシュ調整後ベース(*3) 四半期(当期)純利益	339	245	353	

(参考)ビジネスライン別損益状況*1[連結]

(単位:億円)

		当第1四半期 (平成19年6月期) ＜3か月間＞	前第1四半期 (平成18年6月期) ＜3か月間＞	(参考) 平成19年3月期				
インスティテュー ショナル バンキング	業務粗利益	336	245	1,173				
	経費	125	107	434				
	実質業務純益	211	137	738				
	不良債権処理額(△取崩)	△ 30	△ 51	△ 40				
	実質業務純益(不良債権処理額勘案後)	241	189	778				
コンシューマー アンド'コマーシ ャル'ファイナ ンス ※	業務粗利益	313	318	1,122				
	経費	153	170	681				
	実質業務純益	160	147	440				
	不良債権処理額	125	88	538				
	実質業務純益(不良債権処理額勘案後)	34	59	△ 98				
リテール バンキング	業務粗利益 ※※	91	105	361				
	経費	96	99	377				
	実質業務純益	△ 5	5	△ 15				
	不良債権処理額	0	0	1				
	実質業務純益(不良債権処理額勘案後)	△ 5	5	△ 16				

※ (株)アプラス、昭和リース(株)
 当第1四半期<3か月間>内訳

(株)アプラス		昭和リース(株)	
当第1四半期	前第1四半期	当第1四半期	前第1四半期
225	236	72	57
113	133	32	26
112	102	40	30
98	83	6	△ 1
13	19	34	32

※※ うち仕組預金関連収益
 当第1四半期<3か月間>:14億円
 前第1四半期<3か月間>:41億円

*1～上記の区分表記は経営管理上のものであり、基本的に単体(経営健全化計画ベース)と同様の基準で作成しておりますが、開示の適切性の観点から必要な組み替えを行っております。

2～平成19年3月期は、消費者金融ビジネスにおける臨時的なコスト()が含まれております。

(*)アプラス～のれん減損550億円、無形資産減損400億円とそれに伴う繰延税金負債取崩162億円、利息返還関連費用115億円<貸倒引当金繰入16億円、その他損失99億円>、早期退職他リストラ費用64億円、不良債権譲渡損<貸倒引当金繰入>12億円、なお、不良債権処理額として臨時的なものを含め、総額491億円<前期304億円>を計上しております。シンキ～持分法投資損失146億円、等

*3～四半期純利益からのれんに係る償却額及び無形資産償却とそれに伴う繰延税金負債取崩を除いたものであります。なお、平成19年3月期は上記に加え、アプラスにかかるのれん及び無形資産の減損とそれに伴う繰延税金負債取崩を除いたものであります。

2. 1株当たり数値[連結]

	当第1四半期 (平成19年6月期)	前第1四半期 (平成18年6月期)	(参考) 平成19年3月期
1株当たり四半期(当期)純利益(△損失)	22 円 68 銭	14 円 15 銭	△45 円 92 銭
同 キャッシュベース	24 68	18 08	23 82
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益(△損失)	17 26	9 46	△31 79
同 キャッシュベース	18 78	12 09	18 41
1株当たり純資産*	322 44	378 37	308 60
潜在株式調整後1株当たり純資産*	365 25	434 81	355 09

*～当該純資産額につきましては、新株予約権及び少数株主持分を控除して計算をしております。

3. ROA、ROE[連結]

(単位:%)

	当第1四半期 (平成19年6月期)	前第1四半期 (平成18年6月期)	(参考) 平成19年3月期
ROA*1			
四半期(当期)純利益ベース	1.1	0.8	△ 0.6
同キャッシュベース	1.3	1.1	0.4
ROE*2			
四半期(当期)純利益ベース	28.9	15.0	△ 13.4
同キャッシュベース	31.4	19.1	7.0
潜在株式調整後ROE*3			
四半期(当期)純利益ベース	19.3	9.0	△ 8.1
同キャッシュベース	21.0	11.6	4.7
修正ROE*4	28.3	16.7	6.7

*1～(期首総資産+期末総資産)/2を計算上、分母として用いております。なおキャッシュベース当期純利益を用いて算出する際の分母は、のれん及び無形資産を除いた総資産の期首・期末平均であります。

*2～算式:
$$\frac{\text{四半期} \times [\text{当期} \text{純利益} - \text{期末優先株式配当額}]}{(\text{期首の普通株式に係る純資産額} + \text{期末の普通株式に係る純資産額}) / 2}$$

*3～算式:
$$\frac{\text{四半期} \times [\text{当期} \text{純利益}]}{[(\text{期首純資産の部合計} - \text{期首新株予約権} - \text{期首少数株主持分}) + (\text{期末純資産の部合計} - \text{期末新株予約権} - \text{期末少数株主持分})] / 2}$$
 *～日割り年換算

*4～算式:
$$\frac{\text{キャッシュベース四半期} \times [\text{当期} \text{純利益}]}{[(\text{期首純資産の部合計} - \text{期首新株予約権} - \text{期首少数株主持分} - \text{期首のれん} - \text{期首無形資産} \times (1 - \text{実効税率})) + (\text{期末純資産の部合計} - \text{期末新株予約権} - \text{期末少数株主持分} - \text{期末のれん} - \text{期末無形資産} \times (1 - \text{実効税率}))] / 2}$$

(分子) 四半期(当期)純利益から、のれんに係る償却額及び無形資産償却とそれに伴う繰延税金負債取崩を除いたもの(含む減損)。

(分母) 純資産の部合計から、新株予約権、少数株主持分、のれん及び無形資産とそれに伴う繰延税金負債を除いたものの期首・期末平均

4. 財務状況[連結]

(単位:億円)

	当第1四半期末 (平成19年6月末) (A)	前期末 (平成19年3月末) (B)	比較 (A)-(B)	前第1四半期末 (平成18年6月末) (C)	比較 (A)-(C)
資産の部	111,453	108,376	3,076	96,966	14,486
金銭の信託	4,880	5,023	△ 143	4,479	400
有価証券	18,697	18,546	150	15,409	3,287
貸出金	52,785	51,463	1,321	42,417	10,367
リース・割賦売掛金*1	7,840	7,772	68	8,299	△ 459
無形資産*2	191	198	△ 6	660	△ 468
のれん*2	1,564	1,580	△ 15	2,214	△ 649
支払承諾見返	7,451	7,544	△ 92	8,082	△ 630
負債の部	101,812	99,044	2,768	85,862	15,950
預金・譲渡性預金	55,420	54,209	1,211	44,559	10,861
債券・社債	11,377	11,037	340	11,460	△ 83
純資産の部	9,640	9,332	307	11,104	△ 1,463

*1～「リース」は、「(四半期)連結貸借対照表の「有形固定資産」及び「無形固定資産」に、「割賦売掛金」は、「(四半期)連結貸借対照表の「その他資産」に、それぞれ含まれております。

*2～「無形固定資産」に含まれております。

5. 自己資本比率*[連結]

	当第1四半期末 (平成19年6月末)	前期末 (平成19年3月末)
Tier I	6,498	6,208
Tier II	5,474	5,220
控除項目	△ 1,245	△ 1,377
自己資本金額	10,727	10,050
リスクアセット	82,303	76,520
自己資本比率	13.03%	13.13%
Tier I 比率	7.89%	8.11%

*~新基準(バーゼルⅡ、F-IRB)により算出しております。

6. 損益の概況[単体]

(単位:億円)

	当第1四半期 (平成19年6月期) <3ヵ月間>	前第1四半期 (平成18年6月期) <3ヵ月間>	(参考) 平成19年3月期	平成19年5月9日 公表通期予想 (平成20年3月期)
業 務 粗 利 益 *1	422	311	1,325	
資 金 利 益	190	136	597	
役 務 取 引 等 利 益 *1	156	91	458	
特 定 取 引 利 益	30	51	149	
そ の 他 業 務 利 益	44	31	120	
経 費	203	201	776	
実 質 業 務 純 益 *1	218	109	549	660
不良債権処理額(取崩)	△ 9	△ 49	△ 1	
四半期(当期)純利益(△は当期純損失)	238	161	△ 419 *2	700

*1~「業務粗利益」「役務取引等利益」「実質業務純益」には金銭の信託運用損益を含みます(経営健全化計画ベース)。

(当第1四半期:101億円、前第1四半期:59億円、平成19年3月期:307億円)

2~平成19年3月期は、消費者金融ビジネス関連の投資損失()を含んでおります。

(*) アプラス優先株式減損980億円、アプラス普通株式投資損失引当金計上額92億円、シンキ普通株式投資損失引当金計上額66億円

7. 金融再生法開示債権[単体]

(単位:億円、%)

	当第1四半期末 (平成19年6月末) (A)	前期末 (平成19年3月末) (B)	比 較 (A)-(B)	前第1四半期末 (平成18年6月末) (C)	比 較 (A)-(C)
開 示 不 良 債 権 ①	272	279	△ 7	419	△ 147
総 与 信 残 高 (末 残) ②	54,699	52,946	1,753	42,538	12,161
総 与 信 残 高 比 ① / ②	0.50	0.53	△ 0.03	0.98	△ 0.48

平成20年3月期第1四半期(当第1四半期)及び平成19年3月期第1四半期(前第1四半期)の財務・業績の概況に関する上記の記載数値につきましては、公認会計士及び監査法人による監査を受けておりません。